京都大学・桂キャンパスの図書館に『100 年ドラえもん』がある話

京都大学大学院工学研究科建築学専攻 修士 1 回生
津田龍平

要旨

京大の図書館に『100 年ドラえもん』や『藤子・F・不二雄大全集』が揃っています．興味のある方は「**6. 利用案内**」をよくご確認の上，是非訪れてみてください．

1. 序

タイトルの通りです．2020 年 12 月 1 日，「ドラえもん」連載開始 50 周年記念出版企画の決定版として，『ドラえもん』豪華愛蔵版全 45 巻セット「100 年ドラえもん」が発売されました．ハードカバー・布クロス装に金箔仕上げの全 45 巻に加え，0 巻と画集『ドラ絵もん』や索引巻『引くえもん』の他，様々な特典のついた超豪華セットです[1]．今回，執筆にあたって過去に会員が綴ってきた記事を見返していましたが，まだ誰も本稿での内容について触れていなかったので，この機会に記事にしたいと思います．

2. 京都大学文学研究科図書館には『藤子・F・不二雄大全集』がある

『藤子・F・不二雄大全集』（以下，大全集）は 2011 年の藤子・F・不二雄ミュージアム（神奈川県川崎市）開館に先立って 2009 年から発売された全集です[2]．2009 年より 2014 年にかけて発売され，その中には絶版になった作品や単行本未収録の作品もあるというので，いかに網羅的かつプレミアなものであるかがわかります．例えば，ドラえもんの通常版である〈てんとう虫コミックス〉（以下，てんコミ）全 45 巻は，F 先生自らがセレクトしたもので，発行に際して加筆修正が行われています．また，『ドラえもん プラス』はてんコミ版未収録の作品を集めたもので，2023 年 11 月現在全 6 巻が発行されています．大全集はこれらに未収録の作品も含めて学年繰り上がりによる収録を施したものです．

さて，それらの書籍は章タイトル通り，京都大学文学研究科図書館の書庫に所蔵されています．通常は，京大文学部生や京大の大学院生・教職員でないと書庫には入れません（学外者は入庫不可，事前予約した上で来館利用（閲覧）可能．詳しくは **6. 利用案内**を参照）．今回はなんと特別に撮影させていただくことができました！分厚い本がぎっしり並ぶ重厚な雰囲気の書庫，その階段を恐る恐る下りて地下の一画に足を踏み入れると，一面移動ラックの所蔵庫が広がっています．ラックの中にもこれまた分厚い本がずらりと並んでいるかと思えば，棚一面にわたって確かに大全集が揃っていたのでした（**図 1**）．後に述べるように桂にもドラえもんは置いてありますが，文学研究科図書館にはキテレツ大百科や SF・異色短編も含めて全て揃っています．この素敵な空間にいつでも身を置きに行ける吉田キャンパスの学生に多少の羨ましさを覚えつつ，書庫を後にするのでした．

文学研究科図書館の利用には上記の制約があるものの，大学にも所蔵されているというのは案外知られていないのではないでしょうか．尤も，大学に所蔵されるくらいですから，娯楽・息抜きとしての漫画というより，研究対象としての文献の役割を担っていると考えるのが適切かもしれません．所蔵分類が現代史メディアとなっていたので，恐らくそのあたりの研究材料として参照され得るのだと考えています．作品は作品それ自体の価値に加えて，作者の思想や時代背景，当時の世相・文化を反映し得るものでもあるため，そう

いった意味で漫画が大学にあることは文化的価値の観点から一つの意義を提示していると言えるでしょう．

Web 版は著作権の都合上，
写真を未掲載にしております．

図 1　文学研究科図書館に所蔵されている『藤子・F・不二雄大全集』

3.　京都大学桂図書館に行こう

京都大学には吉田・桂・宇治の 3 つのキャンパスと色々な研究所・施設があり，11 月祭で会場に来られた方が今いるのが吉田キャンパスです．京大に入学するとまず吉田で数年を過ごすことになります．上回生になるにつれて，進路の分化に伴い，自分の所属する分野によりキャンパスの移転が行われます．桂キャンパスは主に工学部 4 回生・工学研究科の大学院生といった魑魅魍魎[注 1)]が跋扈する場所です．

「*元々は山であった場所を切り開いて建設したため、地形が起伏に富んでいる。桂駅側からの場合、長い坂道を登らなければならない。周囲から隔絶されている。*」[3], [注 2)]

桂図書館は桂キャンパス内にある図書館で，研究棟が集まるクラスター間の広いスロープの途中に位置します（**図 2**）．桂キャンパスの場合，人文学や社会科学などの書籍に比して圧倒的に理工系の書籍が多いこともあって，その一画にドラえもんが揃っていることについては不思議な感覚を覚えます（**図 3**）．

図書館自体は学外の方でも見学できる[4]ようです．身分証が必要ですが，事前申込なしで入れるとのことでした．詳細は **6. 利用案内**よりご確認ください．キャンパスまでのアクセスについては，基本的に駅からのバスを使うのが一番早く，行き先が「桂坂中央ゆき」となっているものに乗れば着きます（21A のみ京都成章高校ゆき）[5]．

図２　桂図書館

Web 版は著作権の都合上，
写真を未掲載にしております．

図３　『100 年ドラえもん』の本棚[注 3)]

表１　各駅からのアクセス

乗車	降車	利用交通機関
阪急桂駅 桂駅西口 のりば 1	「京大桂キャンパス前」 または「桂御陵坂」	・ 市バス西 6 系統 ・ 京阪京都交通 20・20B 系統
JR 京都駅中央口 京都駅前 C2 のりば		京阪京都交通 21・21A・27 系統
JR 桂川駅 桂川駅前 ②のりば		ヤサカバス 6・6S 号系統

4.　『ドラえもん』が所蔵されていることの工学的意味

ゴリゴリの専門書籍が並ぶ図書館の一角に漫画があることについて不思議な感覚を覚える，ということを上の章で述べました．本章は大層なタイトルですが，『ドラえもん』が桂図書館のよく見えるところに展示されていることの意義は，よく考えてみると大きいのではないかと思います．

桂キャンパスに所属する学生が工学部の 4 回生，工学研究科の大学院生であることは先ほど述べました．京大では普通 4 回生から卒業研究を出発地点として研究活動をスタートするので，原理上，桂では全学生が工学に関する各々の研究をしていると言えます．勿論，工学の研究と一口に言っても多種多様で，さらに他の学問分野とも共通するところもまた多数ありますし，よく理学とも比較されます．筆者個人の考えとしては，工学の理学との大きな違いは，真理の探究よりも，人類・社会の幸福に直結するモノの生産に重きを置いている点だと思います．幸福に直結しているかはさておき，いくら基礎研究をしていると言えど，やはり最終的には技術として何らかの形に残していくことになります．

ドラえもんは「こんなこといいな できたらいいな」を「ふしぎなポッケ」で叶えてくれる夢のロボットですが，技術の進歩によってひみつ道具が実現されつつあることをどこかで耳にした方も多いのではないでしょうか．例えば，『ドラえもん のび太と鉄人兵団』で登場した「糸なし糸電話」が今の携帯電話として形になったことはよく言われます．実際は作中で出てきたような空中浮遊機能はまだ実現していませんが，誰かがその気になれば近いうちに実現し得るでしょう．その他，大澤正彦先生（日本大学・准教授）など，ドラえもんに対して人工知能のアプローチを取る[6]といった非常に興味深い取り組みもあり，見つけようと思え

ばいくらでも技術的課題・そのための解決手法は見つかりそうな気はします．筆者の専門である建築構造との連関を今すぐに見出すのは困難ですが，てんコミ 23 巻「水加工用ふりかけ」で登場した「水ビル建築機」は当てはまるでしょうか．実際，3D プリンターを用いた建物の建築技術は開発の最中にあり，自動化施工システムが既に開発されている事例もあります[7]．実用化に至ればまさにひみつ道具の身近な実現となるわけで，技術の進化はとどまる事を知らないと言えるでしょう．

閑話休題．ドラえもんを作品それ自体の切り口から捉え直すとき，それは例えば現代メディア・サブカルチャーとしてのドラえもん，乃至は藤子・F・不二雄論として展開されてゆきます．では，桂におけるドラえもんの所蔵がもたらす意義は一体何なのか．一つの解釈としては「これからのテクノロジーの可能性，そしてそれを示唆する役割」ではないでしょうか．桂図書館には地下書庫を含めて，工学に関する膨大な数の書籍や論文が所蔵されています．多くは教科書的な基礎理論に始まり，発展的応用・設計事例・報告書，或いは誰かの思考の過程など，既に得られた知見の集積です．それら既知の集合知と対比させたとき，『ドラえもん』はある意味で未知のテクノロジーの幻想を集めたものだと解釈できそうです．そしてそれは単なる夢物語・幻想ではなくなってきています．ドラえもんは学問領域としてはロボティクスや知能情報学，言語学などを始めとした関連諸分野の融合であり，単一或いは少数の分野のみで捉えられるものではありません．筆者はロボットも情報学も全く明るくないのでそれらの何たるかはわかりませんが，何もドラえもんを実現するための技術，と直接的に見ずとも，例えば技術者における倫理的課題というものは工学全般においてはいつまでも付きまとうものです．すべての事柄をすべての視点から見ることが不可能であっても，テクノロジーやエンジニアリングという広い視点に立った分野横断的な俯瞰は，工学へのフィードバックにおいて重要です．それらの諸課題を今ここで詳らかにして一つひとつ論じてゆくことはできませんが，未来の世界を描いた作品が数多くある中で，今回このようにドラえもんが所蔵されていることは一人のファンとして嬉しく思います．同時に工学との何らかの連関を見出さずにいられないのもまた事実です．

量産型子守ロボットというある種の理想的な技術の結晶が，自身の「ロボットらしくなさ」を以てして人間と関わる物語が，工学を多少なりとも専門とする者が集うフロンティアの一画にあることは，我々が技術を絶えず見つめ直していくための 1 つの材料であるように感じます．啓典とまでいうと少し仰々しいかもしれませんが，それでも，今後テクノロジーと付き合っていく工学屋にとって『ドラえもん』が所蔵されていることは，大きな意義をもっているようでなりません．

5. 結

関係ない話に紙面を割いて肝心の『100 年ドラえもん』の話をあまりしていないような気がしますが，言いたいことは要旨に書いた 2 行に集約されています．さて，普段桂にいる身としては，これは宇治や熊取 etc.にいる方もそうだと思いますが，驚くほど吉田の情報（例えば時計台前でのイベントなど）が入ってきません．講義も研究もキャンパス内で完結すること，院生になってサークルに顔を出すこと自体が僅少になる[注 2)]ことが主な理由でしょうか．そんなこんなで吉田に行くことが年に指折り数える程度しかありません．一方，この数年を経て状況に応じたリモート推進の風潮が形成されており，わざわざ出向かずとも色々済ませられる環境が整ってきました．

F 同でも吉田キャンパスでの上映会に加えてオンライン例会が実施されており，日夜活発な議論や雑談が交わされています．これらは大変都合が良いことで，吉田へ行かずとも活動に参加できる，すなわちこちら

側から「本部」へのアクセシビリティは向上していると言えるからです（尤も，筆者は多忙を言い訳にまともに参加ができていませんが…）．ただし，注意すべきは「本部」の方からこちら側に来ることはまずないということです．行くインセンティブが皆無だからです．ただでさえ「アクセスが悪い」「何もない」「山」などとディスられまくっている桂ですが，それが今回この記事を執筆するモチベーションとなったのも事実です．去年春に初めて桂図書館に行ったときには既に所蔵されていたので，本稿を書こうと思えば書けたのですが，研究室内での業務に追われて会誌に手が回らず，今年に持ち越すことになってしまいました．

今回紹介した桂図書館の『100 年ドラえもん』は学外の方でも閲覧可能なので，興味のある方は行かれてみてはいかがでしょうか．本稿は筆者が桂の学生であることもあって，全体的に桂を贔屓にしたような書き方になっていますが，文学研究科の図書館も訪れてみてほしいと思います．是非この機会に改めて F 先生の著作を紐解いていただき，ドラえもん，F 作品，ひいては藤子不二雄作品を愛好する方々の新たな発見に繋がるのであれば，大変幸いです．

6. 利用案内

本文でも少し触れましたが，以下に利用案内をまとめます．必ずリンク先より詳細をご確認ください。

京都大学文学研究科図書館

- 平日 9-17 時，要身分証．事前予約が必要．
- 書庫の利用は京大文学部生，京大大学院生及び教職員は可能．
- 学外者は書庫への入庫不可，事前予約による閲覧は可能．

学外の方へ（来館利用をご希望の方へ）

https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/lib/external/usage

KULINE（京都大学蔵書検索）の検索結果

https://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/opac/opac_details/?reqCode=fromlist&lang=0&amode=11&bibid=BB04899875&opkey=B169822724695186&start=1&totalnum=6&listnum=5&place=&list_disp=20&list_sort=6&cmode=0&chk_st=0&check=000000

京都大学桂図書館

- 平日 9-17 時，要身分証．事前申込は不要．
- 『100 年ドラえもん』は貸出不可・館内閲覧のみ．

学外の方へ（来館案内）

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/lib/ja/visitors/laikan

KULINE（京都大学蔵書検索）の検索結果

https://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/opac/opac_details/?lang=0&amode=11&bibid=BB07715169

謝辞

本稿の写真は，京都大学文学研究科図書館及び京都大学桂図書館より許可を得て掲載しております．本稿作成にあたり，写真撮影ならびに寄稿にご快諾いただいた職員の方々に厚く感謝申し上げます．

注

1) 研究科・専攻・研究室によりけりなので，工学部・工学研究科の全学生が桂に行くわけではありません．ただし，桂にいるのは工学部・工学研究科の学生のみです．
2) ひどい言われようですが，設備が新しく敷地も広いので，筆者は非常に過ごしやすいです．
3) 本棚の上に色紙などの付属特典もあります（著作権の都合上未掲載）．実物をご覧になりたい場合は，実際に訪れてみてください．
4) 京大 F 同には部活のような明確な「引退」が恐らくなく，院生であろうと活動に参加でき，現にこうして記事を寄稿できています．そのような雰囲気に互いに寛容であることは大きな特徴だと思っています．

参考文献・URL（Web サイト最終閲覧：2023.10.31）

[1]. ドラえもんチャンネル：てんとう虫コミックス『ドラえもん』豪華愛蔵版 全 45 巻セット『100 年ドラえもん』全国書店にて予約受付開始！，https://dora-world.com/contents/1385

[2]. 小学館：藤子・F・不二雄大全集，https://www.shogakukan.co.jp/pr/fzenshu/

[3]. 京都大学大学院 文学研究科図書館：学外の方へ（来館利用をご希望の方へ），https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/lib/external/usage

[4]. フリー百科事典　ウィキペディア日本語版：京都大学 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%AC%E9%83%BD%E5%A4%A7%E5%AD%A6

[5]. 京都大学桂図書館｜大学院工学研究科・工学部図書室：学外の方へ（来館案内），https://www.t.kyoto-u.ac.jp/lib/ja/visitors/laikan

[6]. 京都大学 工学部・大学院工学研究科：桂キャンパス，https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/access/katsura

[7]. 大澤正彦：ドラえもんを本気でつくる，PHP 新書，2020.2.

[8]. 大林組：3D プリンターとロボット打設技術によるコンクリート構造物の自動化施工システムを開発，https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20220712_1.html